

●最初のご相談は無料。第1案作成費用は住宅5万円、その他10万円。

※その後進行する場合はその5万円、10万円は設計監理料に充当します。

●設計監理料の算出およびお支払い時期は以下の通りです。(2017年現在)

1. 目標工事予算の算出

・目標工事予算 = 希望床面積 × 構造別坪単価 (以下の表) + 屋外工事 (外構、本管引込等)

木造：80万円/坪、 鉄骨造：100万円/坪、 RC造：120万円/坪 (2017年現在)

※またはご希望のご予算を目標工事費とします

2. 暫定設計監理料の算出

・暫定設計監理料 = 目標工事費 × 料率 (以下の表)

工事費 構造	～1億円	1億円～2億円	2億円～
木造	12%～10%	10%～8%	8%～
鉄骨造、RC造 木造3階	13%	13%～10%	10%～
リフォーム	15%	15%～13%	13%～

3. お支払い時期と精算

- ・基本構想完了時：暫定設計監理料の20%
- ・基本設計完了時：暫定設計監理料の20%
- ・詳細設計 (実施設計) 完了時：暫定設計監理料の40%
- ・着工時：暫定設計監理料の10%
- ・完了時：暫定設計監理料の10% ± 最終実工事費による精算設計監理料

4. 設計監理契約

- ・基本構想完了時までに行うことを基本とします。契約時に10%お支払いいただきます。
- ・どの時点でもそれまでの業務の精算をおこなうことにより、途中での契約解除が可能です。
ex. 基本設計までとし、詳細設計以後は、別の設計者や工務店に依頼する等

5. その他

- ・消費税、確認申請・中間検査・完了検査納付金等の実費は別途です。

6. ローコストを目指して

- ・一見、工事費を多くした方が設計監理料が増えるので、ローコストになるよう努力しないのではないかと思われがちですが、建築主に対して信義を尽くすことこそ建築家の最大の義務であり、徹底して無理や無駄を省いた適切な設計と、複数社に図面を渡して行う競争合見積りの実施により、究極のローコストの実現をめざすことこそ建築家の職能と考えています。全幅の信頼をお寄せ下さい。プライドに掛けて信頼にお応えいたします。